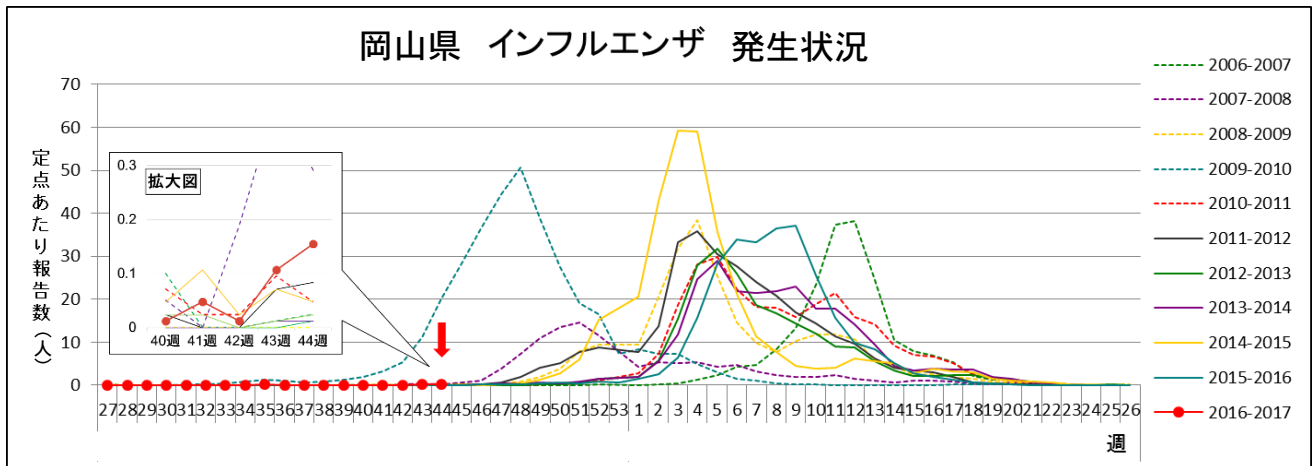


## インフルエンザ週報 2016年 第44週 (10月31日～11月6日)

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で13名(定点あたり0.15人)の報告がありました。(84定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、美作地域で5名、備中地域で3名、倉敷市・備前地域で各2名、備北地域で1名の報告があり、県全体では13名(定点あたり0.15人)の発生となっています。今シーズン(2016/9/5～)は、第36週(9/5～9/11)から散発的に患者が報告されており、第37週(9/12～9/18)に入院患者1名の報告がありました。患者の発生は少数にとどまっています。

全国の第43週(10/24～10/30)の発生状況は、定点あたり報告数が0.47人であり、今シーズンに入ってから徐々に増加しています。都道府県別では、沖縄県(11.40人)、福井県(1.66人)、岩手県(1.08人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。沖縄県では、今後4週間以内に大きな流行の可能性を示す、定点あたり10.00人を超えており、流行開始の目安(定点あたり1.0人)を超える都道府県も、すでに2県となっています。また今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が81株、AH1pdm09型が14株、B型が4株〔ビクトリア系統3株・山形系統1株〕検出されており、昨シーズンの同時期同様AH3型が最も多く検出されています(11月4日現在)。

インフルエンザの本格的な流行は、通常12月に入ってからといわれますが、県内でもすでにインフルエンザによるとみられる学校の臨時休業がありました。外出後は手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。

[IDWR 速報データ 2016年第43週 \(国立感染症研究所\)](#)

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

### ◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が現れるまで、2週間程度かかります。

本格的な流行がはじまる 12月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。

定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- ・ 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・ 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。

#### 定期予防接種対象者

- \* 65歳以上の方
- \* 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活が非常に困難な方

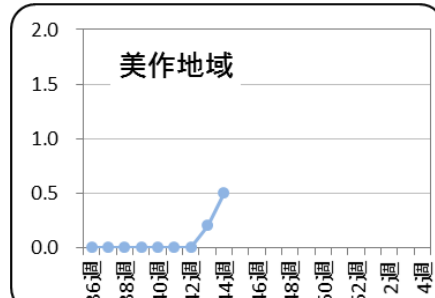
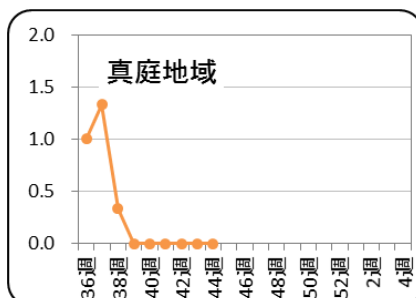
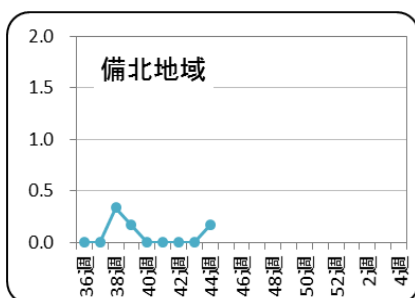
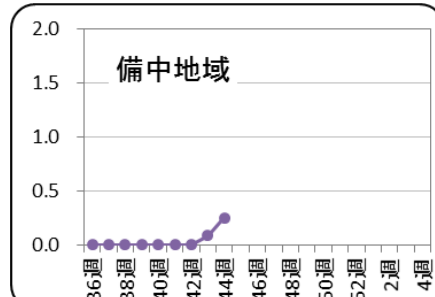
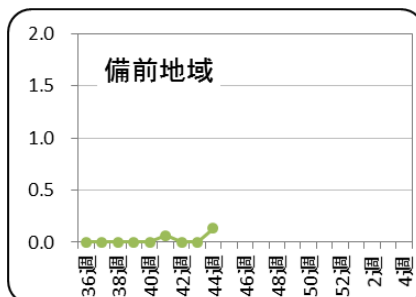
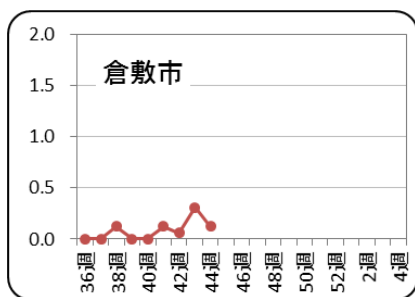
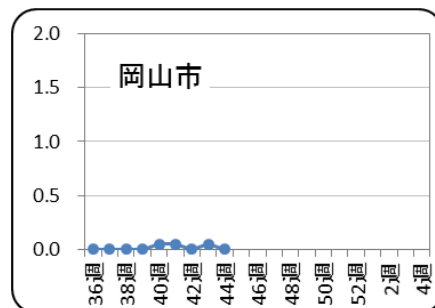
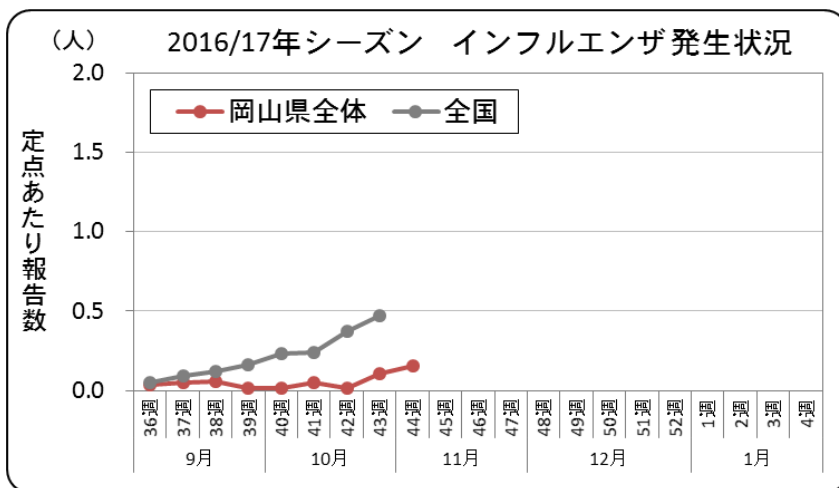
◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

# 1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	13	↗	備 中	患者数	3	↗
	定点あたり	0.15			定点あたり	0.25	
岡山市	患者数	0	↓	備 北	患者数	1	↗
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.17	
倉敷市	患者数	2	↓	真 庭	患者数	0	→
	定点あたり	0.13			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	2	↗	美 作	患者数	5	↗
	定点あたり	0.13			定点あたり	0.50	

【記号の説明】 前週からの推移  
 ↗ : 大幅な増加   ↘ : 増加   → : ほぼ増減なし   ↓ : 大幅な減少   ↙ : 減少  
 大幅：前週比 100%以上の増減   増加・減少：前週比 10～100%未満の増減



## 2. インフルエンザウイルス検出状況

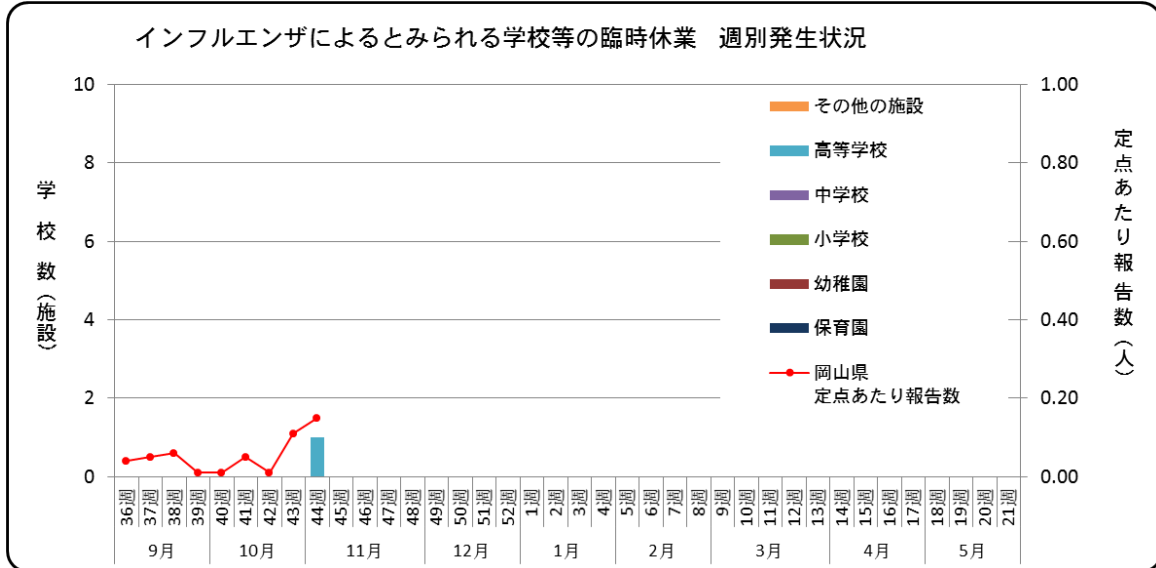
第44週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。

## 3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。

【第44週 臨時休業施設数】

▽総社市 1



### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	11	11	9	9	1	1	-	-	-	-	1	1	H28.11.2
岡山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉敷市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備前地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備中地域	11	11	9	9	1	1	-	-	-	-	1	1	H28.11.2
備北地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真庭地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美作地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 2) 臨時休業施設数の内訳

第44週：1施設

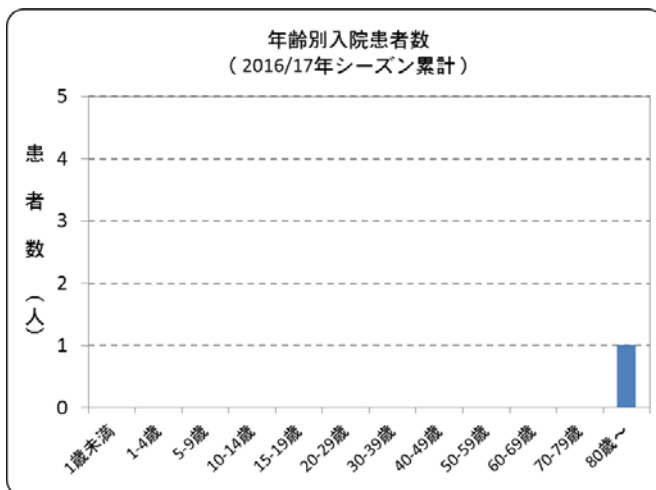
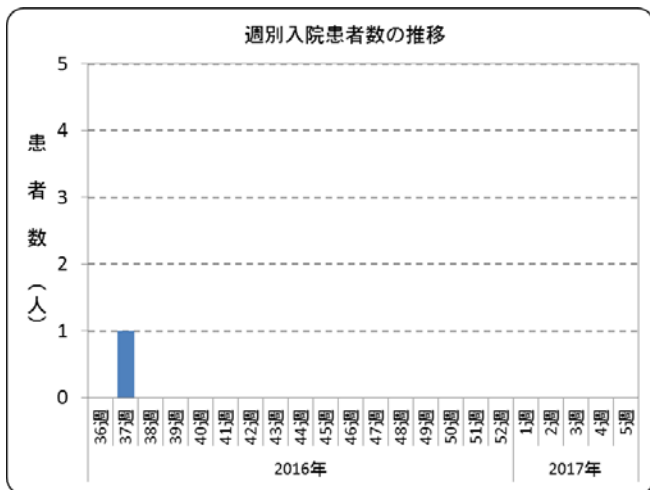
累計：1施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-

#### 4. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



#### 【2016年9月5日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計
入院患者数												1	1
ICU入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず												1	1

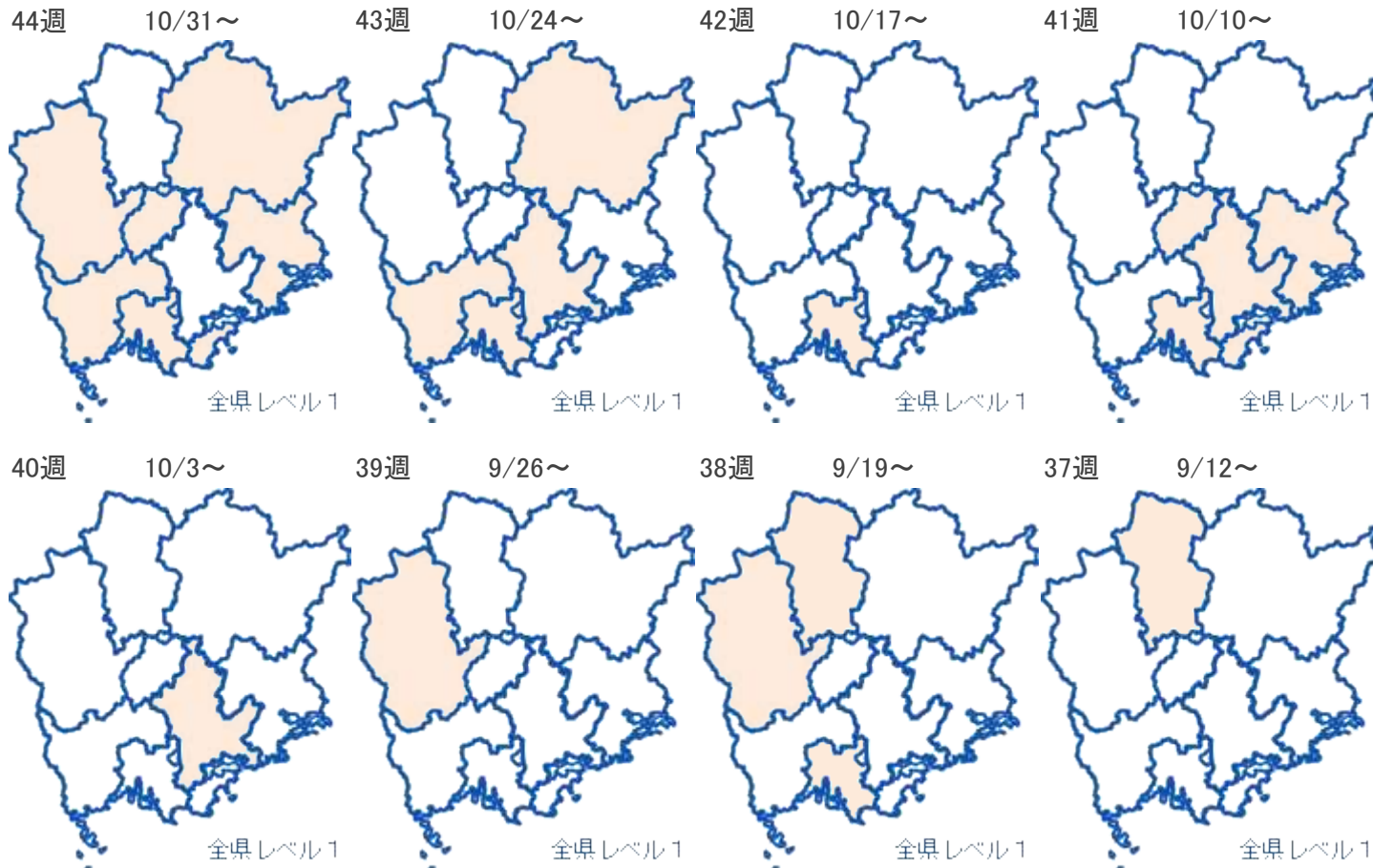
\* 重複あり



# 岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2016年 44週

2016年11月8日

18:02:33



## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。